東海労 関西
２０２４年
12月12日
第９６６号
ＪＲ東海労新幹線関西地方本部
発行責任者　笹田　伸治
編集責任者　教　宣　部

第４２回 臨時大会開催！

２０２４年１２月１１日、私たちＪＲ東海労は、大阪の地で第４２回臨時大会を開催し、会社・権力の代弁者としか言えないまでに腐敗堕落したＪＲ総連からの脱退とＪＲ総連と共に進む組織脱落者への査問委員会設置を決定しました。

もはや組織破壊産別と化したＪＲ総連からの脱退を決定！

２０２４年９月１２日、ＪＲ総連は第４１回臨時大会を開催し、ＪＲ東海労の除名処分を決定しました。この除名処分決定は、嘘とデッチ上げによる虚偽の事実に基づいたものでした。従って私たちは、この除名処分決定に対して、事実に反する事であり制裁には値しないことを具体的な事実を以て弁明・抗議し、査問委員会に再審査の申し立てを行っていました。ところがＪＲ総連は、１２月１２日に第４２回臨時大会を開催し、ＪＲ東海労の除名処分を決定する。その後、敢えて第４３回臨時大会を開催し、１１月２８日にＪＲ東海労からの脱落者で結成させた新組合（ＪＲセントラル労働組合）のＪＲ総連加盟を決定することが判明しました。

これは、産別組織・ＪＲ総連が加盟単組・ＪＲ東海労の組織破壊を行うという絶対に許されない行為です。こんな組織破壊産別・ＪＲ総連から除名処分を受ける理由も必要も全くありません。従って私たちは、ＪＲ総連からの組織破壊攻撃を許さず、断固闘う意志を明確にするために、ＪＲ総連と決別し、ＪＲ総連から脱退することを決定しました。

組織破壊・脱落者に対して査問委員会を設置！

また、ＪＲ東海労結成以降３３年間の闘いを否定し、「ＪＲ総連と共に」とか「森下を支える」とか「何も話すことはない」と言って逃亡した挙句、ＪＲ総連からの組織破壊攻撃に賛同・加担した脱落者に対しては、査問委員会の設置を決定しました。

ＪＲ総連に援助されて、ＪＲ東海労を破壊するためだけの目的で結成された新組合（ＪＲセントラル労働組合）づくりに加担した脱落者は今も私たちから逃げ回っています。

彼らの犯罪性は、今後の運動で明らかになります。

私たちは、今後ともあらゆる組織破壊攻撃を許さず、
東海の地から虐げられている労働者の権利と利益を守るために闘っていきます。